

様式第4号（第11項関係）

審議会等の名称	令和2年度第3回西脇市スポーツ推進計画策定会議
開催日時	令和2年10月9日（金） 午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市総合市民センター 大研修室
出席委員の氏名又は人数	森田啓之委員長、森脇登志子副委員長、生田弘之委員、藤原健二委員、小西池みゆき委員、青山剛委員、坂本修三委員、森一男委員、松本京子委員、和田拓也委員、竹内誠委員
欠席委員の氏名又は人数	藤浦福己委員
出席職員の職・氏名又は人数	教育部長 森脇達也、スポーツ振興室長 西村寿之、スポーツ振興室主査 池田智幸、スポーツ振興室 藤浦綾華
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員長あいさつ</li> <li>3 報告</li> <li>4 審議事項</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
事務局	1 開会
委員長	<p>2 委員長あいさつ</p> <p>前回の会議資料も踏まえながら、意見を出し合っていただけだと思います。案にまだ目を通せていないので、皆さんと一緒に考えながら有意義な時間を過ごしたいです。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>3 報告</p> <p>前回会議の議事録を付けています。本来ならば資料</p>

事務局	<p>を事前に送付し、皆様に見ていただく予定でしたが、間に合わず当日の配布になりましたこと、お詫び申し上げます。</p> <p>また誤字脱字が目立っていますが、ご了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>4 審議事項</p> <p>基本理念、骨子について皆様に多数のご意見をいただきました。それらを参考に、別紙 2・3 を作成しましたので説明をします。</p>
委員長	<p>別紙 2 説明</p> <p>第 2 回会議の意見も参考にしながら、別紙の案について意見、補足をいただけますでしょうか。</p> <p>ちなみに、事務局としてはどれを推していますか。</p>
事務局	<p>1 番目が無難だと思います。</p> <p>市が進めている健康事業にスポーツとして関わること、親しみや笑顔が言葉に入っているので、無難だと思います。</p> <p>ただ、「健幸都市」がどこまで市民に広がっているのか懸念しています。</p> <p>単純にスポーツ活動が地域活動となり、まちづくりに寄与する部分を見ると 3 番目もよいと思います。</p> <p>また今後、地域が拠点になっていくことを考えると地域という言葉がミソになってくる気がします。</p>
委員長	<p>認知度がないのかもしれませんが、個人的には 1 番目の「健幸都市」を意識して使うとよいと思います。</p> <p>「つながる」という部分が、地域づくりや人の輪の意味に含まれるので、無難であり今の市の方向性とも合致します。</p> <p>3 番目は、スポーツを題材に地域を作ることを前面に出している表現になるので、2 番目のスポーツ文化とも異質であると感じます。</p> <p>それぞれの地域同士の関係がよそよそしくなっていますが、スポーツの力でコミュニティの再構築について</p>

<p>委員</p>	<p>て捉え方も変わってくると思います。 委員の皆様のご意見がいただければと思います。</p> <p>「健幸都市」が基本理念らしくよいと思います。 スポーツをされている方は、競技に対して力を入れています。そうでない方は西脇市のスポーツに対して意欲、関心がないところが難しい点です。 昔の話ですが、妻の実家である加東市社地区では、毎年、地区対抗運動会がありました。夜になると各地区の公民館で大縄跳びの練習をするほど活発でした。 現在では、面倒を見る人も減り、子ども会にはどうして入らないといけないのかという方もいます。 西脇市内どこにいても健康的な取組ができる都市づくりを目標に計画づくりを進めていきたいです。</p>
<p>副委員長</p>	<p>スポーツ推進委員をしていますが、「健康」とは、身体と心の健康を合わせて、「健康」という表現を使うように心がけています。また、心と身体の健康が揃えば幸せを感じられると思います。そして、健幸都市推進室が新しくできたことで、市の方向性を再確認することができました。 健康は幸せであり、元気にスポーツができるだけではなく、その日を生き生きと生きることを含めて「健康」と捉えられる町になるとよいと思います。 「健幸都市」の認知度が低いということですが、5年かけて認知度をいかに上げていくのか、皆様の頭に入れて活動ができればよいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>こだわりはそれほどなく、皆様の好みの問題ではないでしょうか。言葉のインパクトを含めて考えると、「健幸都市」という言葉が一番よいのではないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>正式決定は、第4回会議で結構ですので会議終了後にご意見がありましたら、事務局までお声がけください。それでは、骨子の説明をさせていただきます。</p> <p>別紙3の説明</p>

<p>委員長</p>	<p>別紙3について、新たな意見でも構いませんのでご意見をいただければと思います。</p> <p>施策の柱「①市民主導型スポーツの推進」のなかにある「③異種競技スポーツ交流大会の開催」ですが、他の3つある主な取組と比べると、①②は行政としてスポーツクラブ21や体育協会の支援、④は自分たちがスポーツをするうえで、用具の貸出しをより柔軟にする形からすると、③だけ開催になっています。市民主導型の位置づけでよいのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本的には、競技スポーツというイメージを持っている体育協会が開催する形をとればよかったのかもしれませんが。しかしこれまで協会は、自身の協会のなかだけで活動をされてきたので、横の連携ができてこなかったのだと思います。</p> <p>今回は、市民が形を変えて連携していくための手段を行うという意味合いでこちらに入れています。</p> <p>ただ、連携という言葉を使うなら別紙3にある、主な取組「②市内スポーツ関係団体等連携強化の推進」へ移行することも問題ないと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>個人的には、主な取組「②市内スポーツ関係団体等連携強化の推進」へ入れる方がよいと思います。あるいは、取組のなかに入れず、説明のなかに入れてもよいと思います。</p> <p>今後、西脇市の組織をスリムや情報化、次世代へ持続可能な形にどう変えていくか考え直すことが必要です。</p> <p>下から5つ目にある、主な取組「①スポーツ交流ネットワークの構築」は、いろいろな団体がネットワークになる市民活動のことですが、必然性がないので進まないことが多いです。具体的に、ネット交流のために何か働きかけを考えるほうがよいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の会議でも言いましたが、小学生、中学生、青年、壮年、老年、みんなが集まり、グラウンド・ゴルフ大会を都麻の郷グラウンドで開催し、大変盛り上が</p>

<p>委員長</p>	<p>り、市民スポーツの盛り上がりを感じました。</p> <p>西脇市体育協会は、協会が18つありますが、それぞれの協会同士の交流がありません。交流を考えていくことが大切だと思っています。</p> <p>黒田庄町と合併して15年ほど経ちますが、はじめは西脇市と黒田庄町の体育協会が合併して、大きくなりながら新しい協会を増やしたり、黒田庄町はゲートボールが盛んなので、ぜひ一緒に盛り上げたいと考えていましたが、残念ながら一緒に活動できていません。</p> <p>もっとスポーツをしたい方が、同じように西脇市で楽しくスポーツができればと常々思っています。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p> <p>一番大切なことは、これからの5～10年で変化するところを共通認識しないといけません。これから少子高齢化やまちの雰囲気が変わります。そのなかで、何を大切にするかだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>現在のスポーツクラブ21では、若年層と高齢層の間の世代が空洞になっています。今回の計画で中学生に携わっている方々を含めると、全年代が網羅されると思います。しかし、5年後にクラブ等へ入ってくる時にこの形でよいのか懸念しています。指導者不足がどうなるのか、学校と我々をどのように組み合わせていくのか考えなければならないと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>施策の柱「②学校でのスポーツ活動の充実」に当たりますが、今後の展開について十分に考えていかなければならないところになります。</p>
<p>委員</p>	<p>別紙4の14ページに「近い将来、中学校の運動部活動は地域スポーツへ移管される」とありますが、令和5年あたりから、土、日曜日の部活については地域に移管し、すべてを移管するわけではありません。それらの記載がなければ誤解されると思います。もちろん休日でも部活動がしたい先生は、地域に入り指導することも可能です。これらを丁寧に書いていただきたいです。</p>

委員長	別紙４とすり合わせていただきました。部活動は、これまで学校に対して使う言葉でしたが、文科省より「学校部活動」、「地域部活動」という言葉を用いられるようになりました。学校と生徒を一部分だけ切り離して、地域で生徒をみる方向へ変わってきました。
事務局	別紙４を含めて、専門分野の箇所に対してご意見をいただければと思います。
委員長	17ページに現状値 400名、目標値 400名とありますが、これでは書類として厳しいと思います。
事務局	子どもの数、参加対象者の数が減少する可能性とスポーツに携わる子どもの減少が想定され、絶対数が減るため、数を増やすことに無理があるので、同じ人数にしています。他にも同数で挙げている箇所がいくつかあります。
委員長	それならば、人数ではなく、機会を増やすことを目標にする方がよいと思います。同様に、20ページの指定管理制度も現状値と目標値が同数ならば書かなくてもよいのではないのでしょうか。
事務局	減るのではないかという懸念があるので、維持を目標に書いています。
委員長	わかりました。その他にご意見ありませんか。
委員	<p>子どもたちがスポーツに携わることで、自分もやってみたいという気持ちを持つことを目指してほしいです。</p> <p>テレビ観戦より実際に選手等を見る方が、憧れやこうなりたいという意欲を持ちます。子どもにとって、夢を与えるきっかけを作りたいと思います。また、子どもから影響を受けて、親世代もスポーツに対する興味が湧くのではないのでしょうか。</p> <p>私の子どもはソフトボール部に入部して、中学、高校で頑張った結果、よい成績を残しました。子どもた</p>

<p>委員長</p>	<p>ち自身が生き生きと活動していたので、親として子どもから刺激を受けました。</p> <p>ユニバーサルスポーツ、障害者スポーツについてですが、個人情報の関係で、協会では障害を持たれている方を把握ができていません。よって現状では、高齢化が進み、若年者が集りません。行政と協力してスポーツ支援ができるようにしたいと考えています。</p> <p>学校を卒業すると情報を把握することができないので、在籍している間に必要な情報を把握するために何か記述ができればと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>14ページに、「近い将来、中学校の運動部活動は地域スポーツへ移管される」とありますが、高校はどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>高校は入っていません。まずは、中学生の部活をどうにかしなくてはならないということです。</p> <p>部活動は単にスポーツを教えるだけではなく、子どもと先生の繋がりなどがあります。これから土・日曜日に地域へ返し、地域にいる監督等がいろんなことを言う訳ではなく、ある程度指導者が決まっているなかで、指導を受けることで成り立つものだと思います。しかしいろんな方が入ることで、生徒が誰を指導者として選ぶのかを心配しています。</p>
<p>委員</p>	<p>実際、スポーツに関して、先生と地域の方では指導方法が違います。このような指導はしてほしくないということも耳にしたことがありますので、一概にもよいものではないと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>現在、サッカー部がある中学校は、西脇南中学校、黒田庄中学校のみです。現在、サッカー協会がサッカー教室を開講していますが、学校が終わってから参加している状態なので、自由に種目が選べる環境づくりが必要だと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>中学校の部活動について、どのように表現するべき</p>

	<p>か、子どものために、学校や地域、それぞれが持っている不安を一度、検討する会議を設置して話し合いをする形から始めてもよいのではないのでしょうか。</p> <p>子どもたちのために西脇市ではどのような選択をするべきか、丁寧に書くべきです。</p> <p>ご存知の通り、戦後から続いている部活動にはいろいろな想いが染みついています。また一方で、学校教育課とも打ち合わせしなければならない点が多々ありますので、事務局の方で意見を伺い、どのような表現にするか考えられた方がよいと思います。</p> <p>令和5年から地域部活動のスタイルを取り込もうと考えられているので、西脇市に1つモデル校をつくることは予想されるので それらを見越した検討をしないといけません。</p>
委員	<p>若年層から高齢者まで網羅された計画になっているので項目が多くなっている点、別紙4に推進、支援という抽象的な単語が多い点が改善されることを期待しています。</p> <p>老人クラブ連合会の立場として、設備、機会、制度が整理、網羅されても、実施場所へ行く足がないことが課題だと感じています。</p> <p>もちろん保険には入っていますが、かなり高齢の方が運転しているのが現実です。しかし、コミュニティバスはガラガラに空いているので、一工夫していただきたいです。</p> <p>前回の会議で挙がりましたNi-Coですが、日頃から市報をしっかりとみっていますが、まったく知りませんでした。いかに周知徹底が難しいか、この計画をどのように周知するのか、5年後にまた同じ反省を繰り返さないように考えなければいけません。</p>
委員長	<p>若い方が見るツールを利用して、情報を発信することも一つの方法です。スポーツのしかたも含めて、若い方々がしようとしているスポーツは、SNSで呼びかけてスポーツ活動をするなど、従来型とは変わってきています。</p> <p>組織に所属していない若い方々を支援することで、</p>

委員	<p>市民主導型スポーツの推進にも繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>テレビで、市民誰もが知っているものとして特集されていた、現地の方言でされているご当地のラジオ体操が大変面白く感じました。西脇市もラジオ体操をするときは、播州弁のラジオ体操を実施することで、市民の意識を高めることができると思います。このように何か一つ10年後に、身に付いたと自覚できるものが必要ではないのでしょうか。</p>
委員	<p>若い方は、平日に仕事をしているので、スポーツをする機会が減少しています。また体育協会、スポーツクラブ21に取り組みされている方は、子どもと高齢の方が中心でその間の若い方々がないのが現状なので、どうにか解決策を考えなければなりません。</p>
委員長	<p>重点目標や施策の柱の中に、やりたい活動としても少し色を付けてもよいかもしれません。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p>
委員	<p>読んでいくなかで、計画には学校教育と社会教育が混ざっているように感じました。しかし、会議では社会教育の中にあるスポーツを考えていたので、違和感を感じていたのだと思います。計画として常に考えなければならぬのは、社会教育だと思うので、すみ分け、区切りを考えていければと思います。</p>
委員長	<p>社会教育の中で関わる子どもにおいて、「学校期の子ども」とすることで読みやすくなるだろうと思います。また、キーワードとして、スポーツを楽しんでもらうために、「学校期の子ども」にはどうするのか、親世代、高齢者、障害を持っている方にはどうするかを考えるとよいかもしれません。</p>
委員	<p>スポーツ推進委員として、今年度は昨年度までの事業を中止して、新たなことを考えているところです。</p> <p>実際、スポーツ推進委員が前計画を理解して自身の</p>

	<p>事業を展開していたのか、自身を含めて大きく反省しているところです。ぜひ、次の計画が完成すれば、自分たちはどのような役割ができるのか、西脇市の方向性も含めて検討して事業を進めたいと考えています。そして、事業ありきの事業ではなく、目的があるからこそその事業だと今回の委員会に参加し、反省いたしました。</p> <p>今年度に計画が完成すれば、スポーツ推進委員に持って来ていただきたいです。私たちがこれから何をすれば評価や市が良くなるのか検討していきます。</p> <p>また、計画にウォーキングコースの利用促進とありますが、新たにショートコースを作ろうと動いているので是非、活字として載せていただきたいです。</p> <p>国では、地域のスポーツの悩み事や新たな展開は、スポーツ推進委員を中心にするようにとありますが、現実では、推進委員の皆様も仕事やイベントの運営などで手一杯ということもあるので、新たにノウハウや知恵を生み出してくれる人の育成をしなければなりません。</p> <p>また完成した計画を誰がするのか。行政には異動があるので、事務局では何も変わりません。新たな発想には、民間の発想が必要で、マネジメントする人材を育てることで、組織の強化が具体的に書けると思います。</p> <p>また、22ページには「次世代のスポーツ組織の構築について」と書かれています。これを進めようとするとなかなか大変ですが、課題であることは皆様もわかっています。このあたりを皆様にご意見いただきたいと思っています。</p>
事務局	<p>別紙4をみていると、「支援します」という言葉が多いのですが、19ページにある「スポーツ施設の改修・整備」では、「決定している」となっているので、「仮定します」くらいでよいと思います。下の但し書きでも、後ろ向きな言葉を使うなら書かないほうがよいと思います。</p>
	委員

事務局	<p>後ろ向きですが、実際には効率化を図っている部分でもあります。</p> <p>これから2万8千人まで人口が減少すると予測されているなかで、今と同じように社会体育施設を維持できるのかという部分を考える必要があります。また、このような状況が2021年にあったことを残す必要があると思います、記載しています。</p>
委員	<p>施設が無くなるとスポーツをする機会が少なくなるので、計画の中で推進すると言いながら、お金等の問題で施設を減少すると、市民としては理解しにくい部分があります。どのような対応をしていただけるのか考えていただきたいです。</p>
事務局	<p>全国的に人口等の問題で、スポーツ施設だけではなく公共施設を30年の間で数割削減しなければなりません。</p> <p>しかし単に施設をなくすのではなく、施設2つを1つにして充実させるなど、利用者のことを考えながら表現を変えたいと思います。</p>
委員長	<p>19ページには、「各地区のスポーツ拠点の推進」とあります。地区ではなく市として拠点化を図り、施設を有効活用できるように検討するとよいと思います。</p>
事務局	<p>高齢者の足として、市ではデマンドコースの見直しをしています。次回の会議で詳細についてお伝えします。</p>
委員	<p>学校のスポーツについて、前計画冊子33ページに、保健・体育授業の説明が載っていますが、体育とスポーツは近いけれど違うというイメージを持たれていると思います。また部活動はスポーツではなく、人と人との関わり合いを育むものだと言われていましたが、今回の計画には、ほとんどそのような文言を入れずに作っています。スポーツ活動に近いものとして、同じように挙げていくことがよいのであれば、追加をしていけばと思うのですが、どうでしょうか。</p>

<p>委員長</p>	<p>これらの件について、事務局としても文科省から通達があり、急遽計画に入れようとしています、外部指導者の問題等ありますので、学校教育課を含めて先生方とご相談しながら、文言を決めていきたいと思えます。</p> <p>その他いかがでしょうか。それでは一旦協議を閉じます。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後の予定について連絡します。次回の会議は11月中旬を予定しています。その後、パブリックコメントを1月に実施、何もなければ2月に答申、3月に議会へ報告する予定です。</p>
<p>委員長</p>	<p>次の会議で9割決める必要があるということで、タイトなスケジュールですが、皆様よろしく願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>他に皆様から何かご意見はありませんか。それでは閉会のあいさつを副委員長、よろしく願います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>6 閉会</p> <p>会議も残りわずかですが、このスポーツ推進計画が出来上がり、スポーツを通じてみんなが笑顔で生活できていくことを願ひまして、最後の1回に臨みたいと思ひます。よろしく願ひします。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市教育委員会生涯学習課スポーツ振興室</p>